

とっとり
県道
協議会

平成16年度達成度報告書

平成17年度業績計画書

鳥取県幹線道路協議会

目次

はじめに	1
鳥取県のアウトカム指標の成果と目標	2
アウトカム指標でみる道路事業の評価と今後の取り組み	5
交流と連携	
高速IC30分カバー率	6
第三次医療施設60分カバー率	10
生き活きと	
主要渋滞ポイント数	14
生活圈中心都市30分カバー率	24
安全で安心	
死傷事故件数	28
緊急輸送道路における橋梁震災対策率	38
アウトカム指標と主な関連事業	42

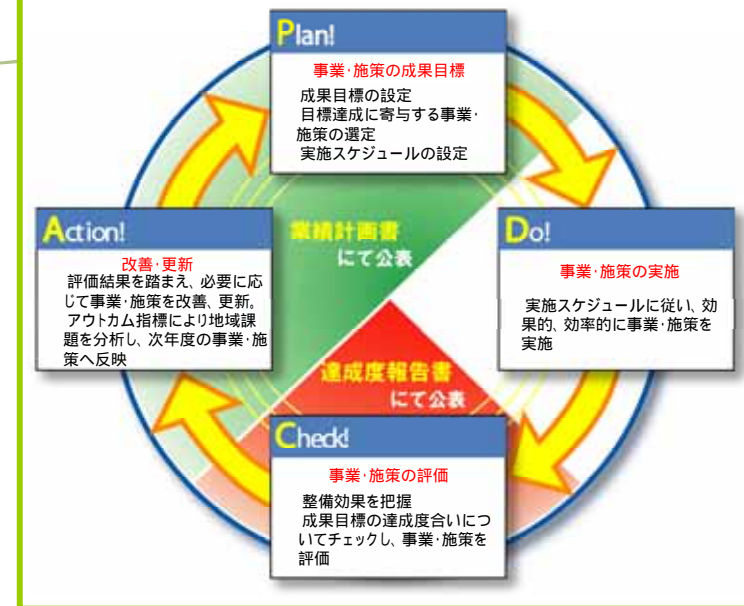
はじめに

国土交通省では、道路行政上の各課題に対応した成果目標を設定し、その目標を達成するために事業・施策を行い、実施後に成果を検証して次年度の事業や施策に反映させる、という一連のサイクル（道路行政マネジメント）を進めています。これを受け、鳥取県幹線道路協議会では、平成15年度より「鳥取県版業績計画書・達成度報告書」を策定しています。

昨年度の「鳥取県版業績計画書」では、アウトカム指標を用いて鳥取県の道路課題を取りまとめるとともに、これを解決するための事業・施策を整理し、実施後の成果目標を設定しました。

本年度の「達成度報告書」では、設定した成果目標の達成度合いについてチェックすることで、昨年度実施した事業や施策の評価を行います。また、その結果を反映（改善、更新）して、本年度の「業績計画書」を作成し、新たな成果目標を設定します。

道路行政マネジメントにおけるPDCAサイクル



鳥取県のアウトカム指標の成果と目標

アウトカム指標			H15 現況値	H16末 目標値	H16末 実績値	H16の 評価	H17 目標値	H19 目標値	アウトカム指標に対応する事業 (赤字はH17年度完成予定事業)
交流と連携	広域な活動を可能にする	高速IC 30分カバー率	33%	33% 〔H15から 変化なし〕	33%	○ 関連事業を 着実に推進	33%	37%	名和・淀江道路、東伯・中山道路、駟馳山バイパス、中国横断自動車道姫路鳥取線、鳥取西道路江府道路
		第三次医療施設 60分カバー率	86%	86% 〔H15から 変化なし〕	86%	○ 関連事業を 着実に推進	86%	97%	名和・淀江道路、中国横断自動車道姫路鳥取線、鳥取西道路、北条倉吉道路
生き活きと	住民生活を豊かにする	主要渋滞 ポイント数	21箇所 〔全22箇所の うち 1箇所緩和〕	20箇所 〔全22箇所の うち 2箇所緩和〕	20箇所 〔全22箇所の うち 2箇所緩和〕	◎ 目標達成	19箇所 〔全22箇所の うち 3箇所緩和〕	12箇所 〔全22箇所の うち 10箇所緩和〕	名和・淀江道路、東伯・中山道路、駟馳山バイパス、津ノ井バイパス、中国横断自動車道姫路鳥取線、鳥取西道路、宮下十六本松線 千代大橋西詰交差点改良、国道9号白兔横断歩道橋整備、下阪本交差点右折レーン設置、上味野交差点改良、小田橋西詰交差点立体化、(都)滝山桜谷線、新日野橋西詰交差点右折レーン設置
		生活圈中心都市 30分カバー率	90%	90% 〔H15から 変化なし〕	90%	○ 関連事業を 着実に推進	90%	93%	名和・淀江道路、駟馳山バイパス
安全で安心	地域の安全性を向上させる	死傷事故件数	—	新指標 につき 未設定	3,048件	○ 事故対策箇所 で事故削減効果 が見られた	3,024件 〔H16に対し 0.8%削減〕	2,986件 〔H16に対し 2.0%削減〕	名和・淀江道路、東伯・中山道路、青谷・羽合道路アクセス部、駟馳山バイパス、津ノ井バイパス、志戸坂峠道路、中国横断自動車道姫路鳥取線、鳥取西道路、東浜居組道路、北条倉吉道路、生山道路、江府道路、倉吉道路 あんしん歩行エリアでの整備(鳥取駅周辺、湖山地区、城北地区)、事故危険箇所での整備(今町一丁目交差点改良)、国道29号注意喚起表示
	地震等緊急時の交通流動を確保する	緊急輸送道路における橋梁震災対策率	—	新指標 につき 未設定	31%	—	51%	100%	宝木橋、馬橋、新用瀬橋、安蔵橋、京橋、栃本大橋、早野橋、坂の谷橋、杉見橋、吾曾呂橋、魚止橋、勝田橋、名和橋、日吉津橋、中間橋 (その他37端)

アウトカム指標でみる
道路事業の評価と今後の取り組み